

令和6年度久留米市邦楽振興事業

箏曲のふるさと久留米

# 春を彩る 邦楽のしらべ

日時 二〇二五年三月一五日(土)

開場 三時三〇分

開演 一四時〜一六時

会場 石橋文化ホール (久留米市野中町)

料金 無料

特別出演

藤井泰和



出演者

川瀬露秋

(くるめふるさと大使)



松野孝子

松下知代

銀明会九州支部  
有志会員

曲目

竹生島

笹の露 他

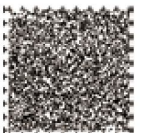


楽しみと幸福の時間。  
石橋文化センター

〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015番地  
Tel 0942-33-2271 Fax 0942-39-7837  
www.ishibashi-bunka.jp

■主催:久留米市 ■共催:公益財団法人久留米文化振興会

携帯電話対応  
音声コード



出演者プロフィール



特別出演者  
**藤井 泰和**  
ふじい ひろかず

幼少より祖母阿部桂子、母藤井久仁江(人間国宝)に箏と三絃の手ほどきを受ける。東京藝術大学卒、同大学院修了。  
1986年、NHK邦楽オーディション合格。同年より現在まで国際交流基金、文化庁などの派遣により、海外公演を多数行う。1989年、フラメンコ舞踊家小松原庸子氏とスペインマドリッドにて共演。1990年、スペイン・セビリアより国際弦楽器フェスティバルに招待される。1993年、「第一回藤井泰和地歌演奏会」を開催。現在まで30回開催。2000～2001年、坂東玉三郎特別公演を全国各地で開催。2002年、ライブ形式の「地歌の会」を全国各地で開催。現在まで35回開催。2005年、芸歴40周年開軒20周年記念会を日本橋公会堂にて開催。2006年、銀明会三代目家元を襲名。同年バイオリニスト千住真理子氏と「春の海」を共演。2011年、日・独立交流150周年記念行事で「藤井泰和地歌公演」をドイツ各地で開催。2012年、米国各地にて「歌舞伎ダンス公演」出演。2014年、シアトルにて「藤井泰和地歌公演～Voice of Longing～」を開催。などニューヨーク他で「江戸と京阪の三味線音楽の真髓」公演出演。2015年、第21回リサイタルを芸歴50周年開軒30周年記念会として開催。2017年、久留米シティプラザ・久留米座にて、川瀬露秋プレゼンツ・邦楽コンサート「和の調べ」へ出演。第1回箏曲のふるさと久留米「秋を彩る邦楽のしらべ」に出演。以降、毎回出演を続ける。2021年、「創立九十周年記念銀明会箏曲地歌演奏会」を開催。その他自身のリサイタルを毎年開催、ライブ活動や国内外での演奏活動、TV、FM放送、CD録音、舞踊地方などで高い評価を受けるほか、全国各地の稽古場で後進の指導に当たっている。  
文化庁芸術祭新人賞・同優秀賞受賞。芸術選奨文部科学大臣賞受賞。紫綬褒章受章。日本芸術院賞受賞。(公社)日本三曲協会常任理事。生田流協会常任理事。目黒区邦楽連盟副会長、二十一世紀邦楽の会顧問、東京藝術大学講師歴任、一般社団法人地歌Mirai理事。銀明会会長。CD制作「藤井泰和の三弦」(作品I、II)、「藤井泰和の松浦四つ物」、「松・ことほぐ」、「獅子・さきさげ」他。



(くるめふるさと大使)  
**川瀬 露秋**  
かわせろしゅう

久留米市出身。7歳より箏・三絃を三原幽香に師事。生田流箏曲、九州系地歌・箏曲白秋の家元川瀬白秋の内弟子となり、同時に九州系地歌の井上道子にも師事。  
1982年、中学卒業後、15歳にて上京。1988年、小林露秋の名を許され、多数の演奏会に出演する。また歌舞伎における黒御簾演奏、長唄、常磐津、清元、義太夫、能など古典から新作まで数々の箏・胡弓の編曲、舞踊の地方を国内外で務める。2009年、川瀬白秋の養女となる。2011年、川瀬露秋改名披露。白秋会50周年記念演奏会(国立劇場)にて、竹本駒之助氏による「壇の浦兜郎～阿古屋」を演奏し、改名披露。2012年、文化庁補助事業「伝統長唄伝承の会」にて「初雁傾城」の胡弓演奏。2013年、京都南座・市川海老蔵公演「源氏物語」箏の楽曲創作を担当。2014年、京都南座、熊本八千代座にて、坂東玉三郎特別公演に参加、胡弓演奏。藤井泰和とアメリカシアトル地歌公演に参加、演奏。2015年、「くるめふるさと大使」就任。2017年、アメリカ・モデスト市との姉妹都市締結二五周年を記念し、市長とともに久留米市より派遣され、文化交流として箏や三絃を披露。久留米シティプラザ・久留米座にて、川瀬露秋プレゼンツ・邦楽コンサート「和の調べ」を開催し、箏、地歌、胡弓の演奏を披露。2018年、箏曲のふるさと久留米「春を彩る邦楽のしらべ」に、藤井泰和氏とともに出演。  
現在、藤井泰和に師事し、九州系地歌の研鑽に励みながら、舞踊の地方、歌舞伎音楽の演奏や作曲に携わるなど、三曲のみならず幅広い活動を国内外に行っている。また、若手歌舞伎俳優や白秋会後進への指導を積極的に行うなど九州系地歌・箏曲、胡弓の普及に努めている。  
「創造する伝統賞」受賞(2014年)。「第20回日本伝統文化財団賞」受賞(2016年)。「第39回伝統文化ボーラ賞奨励賞」受賞(2019年)。「第46回松尾芸能賞優秀賞」受賞(2025年)。(公社)日本三曲協会理事。生田流協会常任理事。白秋会会長。



**松野 孝子**  
まつの たかこ

幼少の頃より長谷検校の流れを汲む伯母斎藤麻子に、箏、三絃の手ほどきを受ける。  
1974年箏曲を古川郁代師に師事。1979年、熊本箏アンサンブルのメンバーとしてヨーロッパ各地にて演奏。1994年より、藤井泰和師に師事。2014年、日本伝統芸能コンサート、ベルギーブリュッセルホザールにて演奏。2017年、松野孝子箏曲地歌演奏会を熊本にて演奏。久留米市邦楽振興事業の箏曲のふるさと久留米「秋を彩る邦楽のしらべ」やくるめ街かど音楽祭・邦楽ステージにも多数出演。  
東京国立劇場にて銀明会記念会、紀尾井ホールにて藤井泰和リサイタルに参加演奏するなど各地で音楽活動を行う。  
熊本箏曲家連盟大師範、銀明会会員、熊本箏演奏者協会会員、熊本県文化協会懇話会会員、(公社)日本三曲協会会員、双葉会主催。



**松下 知代**  
まつしたともよ

広島県福山市出身。3歳から三上澄則氏に箏を習い始め作陽音楽大学邦楽専攻科を卒業後上京。NHK技能者育成会40期修了。箏 西陽子氏、二十絃箏 吉村七重氏、十七絃箏 宮越圭子氏、二十五絃箏 野坂操寿氏、三味線 藤井泰和氏、松野孝子氏に師事。日本音楽集団入団(1994～2008)NHKオーディション多数合格。  
2014年、第21回くるめ全国箏曲コンクール賢順受賞。2015年、Eテレにっぽんの芸能テレビ出演。2016年、2017年、2年連続くまもと全国邦楽コンクール奨励賞受賞。2018年、2021年、くまもと全国邦楽コンクール優秀賞受賞。  
久留米市邦楽振興事業の第1回箏曲のふるさと久留米「秋を彩る邦楽のしらべ」やくるめ街かど音楽祭・邦楽ステージにも出演。  
現在は活動拠点を東京から熊本に拠点を移し福山市と熊本市にお箏教室開講。自主リサイタルや福山国際音楽祭など海外のオーケストラと競演。自主プロデュース箏模様コンサートvol.13プロデュース。作曲活動などジャンルを問わず国内外で演奏活動を行う。自作曲3曲大日本家庭音楽会出版。邦楽ジャーナルCD純邦楽ショップHOWにてアルバム心箏I、II発売中。

会場

石橋文化ホール

〒839-0862 福岡県久留米市野中町1015  
TEL:0942-33-2271 FAX:0942-39-7837

会場への  
アクセスはこちら!



これまでの演奏会の様子はこちら!

石橋文化センター  
公式  
YouTube



「箏曲発祥之地」記念碑(善導寺)



大木山善導寺(久留米市善導寺町)

近世箏曲の源流である  
「筑紫箏」を作り出した  
善導寺の僧 諸田賢順

箏曲の創始者として高名な鎮西大木山善導寺の僧賢順(二五三四～一六三三)は、少年の頃から中国の七弦琴や善導寺の寺写楽を修め、筑紫箏を編み出しました。その後、高弟の一人である法水(ほつすい)が、江戸へ行き、三絃の名手である八橋検校(やつはしけんぎょう)にこの筑紫箏を伝授しました。八橋検校は、これをさらに改調編曲して、今日の生田流・山田流に受け継がれ、善導寺は「箏曲発祥の地」、久留米市は「箏曲のふるさと」と言われています。